



目指す児童像 ◇学び合う子 ◇思いやる子 ◇きたえる子

【緑小HP】

下野市立緑小学校 鈴木 寧子

～ 元気なあいさつ 輝くひとみ みんなが笑顔 みどりの子 ～

&lt;目指す児童像:思いやる子(豊かな心の育成)を目指して ～みんなが笑顔～&gt;

**いじめ防止強調月間** 下野市では6月と11月の年2回「**下野市いじめ防止強調月間**」を設定しています。これは、市の基本理念の下「『いじめで苦しむ児童生徒ゼロ』を目指して、市内小中学校でいじめ対策への取組をこれまで以上に充実させる」というものです。南河内第二中学区は「①いじめは絶対ダメ！の再確認をしよう。」「②いじめを生まない温かい学校の雰囲気高めよう。」の共通認識の下、今年度も全ての学級で「学級力アンケート」を実施し、子供たちから出された「学級の良いところ」に目を向けた話し合いを行う予定にしています。また、二年前から二中学区共通のいじめ防止スローガン「**お互いの個性を認め合い 笑顔の花を咲かせよう**」も三校合同の子ども未来プロジェクト会議の中で決定しています。どの学校でもいつでも見られるように掲示されています。

さらに、6月には教育相談期間を設定し、担任が一人一人と、今の学校生活の様子を話したり、悩みや不安を安心して相談したりできる時間を作っています。今年度から担任はもちろんですが、他にも自分が話したい相談したい先生と相談できる時間も作れるようにしています。限られた時間での面談になるため、事前に学校生活に関するアンケートを取って少しでも話しやすくなるように工夫しています。

また、同じ時期に人権週間(6/9～6/13)を設定し、「一人ひとりがかけがえのない存在であることを理解し、自分も相手も大切にできる優しい心を育成する」ための取組も行う予定にしています。「学級や学校の生活でお互いのよさを見つけ、違いを尊重し合い仲良くしたり信頼し合ったりして生活すること」を目標に学級活動で話し合いを行います。また、給食の時間に全校児童に向けて、放送委員会の当番さんに協力してもらい、リレー形式で「自分の好きなところやお友達の好きなところをたくさんみつけてもっともっと自分を好きになったりお友達と仲良くなったりしよう。一人ひとり違うところがあるけれど、一緒なのはみんな『大切なひとりの人』です。」というお話をする予定です。このような取組を通して、子供たちに「自分の存在がかけがえのないものであること」「いじめは絶対にあってはならないこと」「自分がされて嫌なことや見て見ぬ振りは絶対にしない。気付いたらその場で行動する勇気をもつ」ことを伝えていきたいと考えています。

子供たちが互いに関わりながら生活している中では、気持ちの行き違いなどから悲しい思いをしたりさせたりすることもあると思います。ただ、常に「いじめゼロ」を目指して、根気強く、指導を続けてまいります。また、いじめが発生した場合は、早期解決に努めます。何か、お気付きの点、ご心配な点がありましたら、いつでも学校にご連絡ください。この強調月間に限らず、年間を通じ、いじめの未然防止に向け指導を重ね、授業や活動を通して豊かな心を育みながら「いじめは絶対に許さない」という思いを子供たち自身が持ち続けられるようにしていきたいと考えています。ご家庭でも、この月間に合わせていじめについて話し合ってくださいと幸いです。

**ブロックチーム制推進中**

4月の学校だよりや懇談会の冒頭でお知らせした通り、本校では昨年度から導入したブロックチーム制を今年度も進めております。週に一度のブロックミーティングに限らず、日常的に、情報共有や授業の進捗や指導内容などの確認をしている職員の姿があります。朝の会や給食指導での担当者の交流、ブロック合同授業や算数の授業を中心としたTT授業、教科担任制を含む指導者交流、教育相談体制の充実など昨年度の取組を工夫改善し、今年度

新たに進めている取組を通して実践を重ねております。このような機会に、職員にとってはお互いの学級の良さを共有しながら児童理解を深めるとともに指導力の工夫改善につなげ、子供たちにとっても、学校の中に自分を知っている先生や相談できる先生がたくさんいるという安心感につなげていけたらと考えています。教育相談の機会などを通して、いろいろな先生が関わるということについて子供たちにも意見を聞くなど、今後のより良い取組に生かしてまいります。

**なかよし班活動を進めています ～みんなが笑顔 みどりの子～**

HPでも時折お伝えしてまいりますが、本校では、「豊かな心を育む指導の充実」のための具体策の1つとして、異年齢集団での活動「なかよし班活動」の充実に努めています。三年前から一歩進んだ実践として、緑小をより良くするために子供たちが自分たちで知恵を出し合い、話し合い、行動を起こす「なかよし班会議」を始めました。6年生がリードして話し合う様子は今ではすっかり緑小の当たり前の見慣れた姿となりました。本校の良さの一つであると感じています。今年度も、1年生を迎える会で初顔合わせをして、その週から早速なかよし班での清掃が始まり、すぐに打ち解け次に集まったなかよし班会議では、自由に意見を交流している姿がありました。そして、先日のロング昼休み。なかよし班ごとに遊ぶ時間を取りました。校庭のあちこちから歓声が聞こえてきました。どの場面でも6年生は大活躍です。異学年で交流する活動では、高学年の児童がリーダーとしての経験を重ねることで、高学年の自覚や責任が

HPでも時折お伝えしてまいりますが、本校では、「豊かな心を育む指導の充実」のための具体策の1つとして、異年齢集団での活動「なかよし班活動」の充実に努めています。三年前から一歩進んだ実践として、緑小をより良くするために子供たちが自分たちで知恵を出し合い、話し合い、行動を起こす「なかよし班会議」を始めました。6年生がリードして話し合う様子は今ではすっかり緑小の当たり前の見慣れた姿となりました。本校の良さの一つであると感じています。今年度も、1年生を迎える会で初顔合わせをして、その週から早速なかよし班での清掃が始まり、すぐに打ち解け次に集まったなかよし班会議では、自由に意見を交流している姿がありました。そして、先日のロング昼休み。なかよし班ごとに遊ぶ時間を取りました。校庭のあちこちから歓声が聞こえてきました。どの場面でも6年生は大活躍です。異学年で交流する活動では、高学年の児童がリーダーとしての経験を重ねることで、高学年の自覚や責任が





芽生え、自分への自信を高めるとともに、下学年への思いやりの気持ちが育ちます。さらに、その姿を見る下学年の児童にとっては、上学年の児童に親しみやあこがれ、尊敬の気持ちを持ち、「自分もこうなりたい」という思いや願いをもつことにつながります。実際になかよし班活動の様子を見てみると、高学年(特に6年生)はリーダーシップを発揮するとともに、下級生に優しく接する姿をたくさん見せてくれます。同様に、様々な場面で下学年が上学年を慕い頼りにする様子が見られるようになります。

異学年での交流活動の効果は大きいものと考えています。今後も本校では、「異学年交流の効果」を取り入れ、「本校の伝統(よさ)」を受け継ぐために、なかよし班活動の充実を目指していきます。

<安心安全な学校を目指して ~みんなが笑顔~>

### AED研修の実施

5月21日(水)に心肺蘇生法・AED研修を実施しました。石橋地区消防組合の救急隊員の方を講師にお招きし、心肺蘇生とAEDの使い方について演習を交えてご指導いただきました。水泳の授業が近づくこの時期に毎年実施しています。今年度は特に宿泊行事が5月6月に予定されていたため、より高いレベルでの危機意識を共有することができました。「迷ったら迷わず救急車」「救急車が到着するまでに、どう対応するかが命をつなぐ大きな役割」「胸骨圧迫の基本は強く・速く・絶え間なく」など心と頭に刻むべき多くのことを学びました。演習では、最後は講師の先生の指示がなくても自分達の判断で救急車に引き継ぐまでの適切な動きができるかを確認しました。職員は危機感高まる表情で取り組み、研修後にはたくさんの質問が出たり、改善点の意見交換や協議が積極的に行われました。安全に対する学校全体の意識の高揚を実感するとともに、改めて命の重さを実感する時間になりました。これからもご家庭からお預かりしている大切な命を守る役目があるということを肝に銘じ、安心安全な学校づくりに向け努力してまいります。



### 子供たちの笑顔を守るために

学校では毎日子供たちの元気な笑い声が響いています。子供たちの笑顔にエネルギーをもらっています。そんな中、その笑顔と隣り合わせでヒヤヒヤしていることがあります。日常生活に目を転じてみると、校内にも危険はいっぱいあります。廊下の曲がり角や階段。ピロティのインターロッキングやアスファルト。早く外で遊びたくて、廊下を走っている子供の姿が見られます。アスファルトで走ったりボールをついたりする子供の姿を見かけます。教室では廊下の歩き方を指導したり、見かけた職員がその場で「廊下は走りません」「鬼ごっこは校庭で」「アスファルトでは歩きます」などと常に声をかけ指導をしています。注意をするとハッと気付いてスピードダウンすることもできますが、なかなか習慣付いていません。今は校内で大きな衝突事故は起きていませんが、いつ大きな事故になりこの笑顔を奪ってしまうかわからないと思うとこれは命に関わる大きなことと捉えています。「子どもは急に止まれません」学校でも全職員で指導を継続してまいります。ぜひご家庭でも一声かけていただくとありがたいです。



これから梅雨の時期を控え、室内で過ごす時間や廊下や階段が滑りやすくなることが多くなります。そろそろ梅雨の季節になるため、4年生に雨の日に室内で楽しく過ごす遊びを考えてもらい、「緑のひろば」に掲示しました。各学級で紹介し、雨の日の室内での過ごし方を指導するとともに、少しでも雨の日を楽しく過ごせるように工夫していきたいと思えます。学校にお越しの際、お時間がありましたらぜひ「緑の広場」もひと目のぞいてみてください。安心安全な学校経営や危機管理体制の構築は学校教育の基盤となるものと考えています。これからもご家庭からお預かりしている大切な命を守る役目があるということを肝に銘じ、安心安全な学校づくりに向け努力してまいります。

<目指す児童像:学び合う子(確かな学力の育成)を目指して ~輝くひとみ~ >

### 「聴いて考える力」を伸ばしたい

本校では、これまでも「対話」を軸とした学習を通して子供たちの確かな学力の育成を目指して指導の工夫改善を図ってきました。今年度は昨年度の成果と課題を踏まえ、自分の考えを持ち、伝え合い、聴き合い、さらに考えて深める力を育成するための指導の工夫を研究してまいります。これは、小中一貫教育の三校共通の研究テーマにもつながります。これまで同様、子供たちがお互いの考えや思いを聞いたり、安心して伝えたりすることができる温かい雰囲気醸成を目指して「学級力」を高める工夫をしたり、日頃の授業の取組を指導者同士で共有して手立ての改善を図ったりしながら、聴いて理解する力、聴いたことを自分の考えを深めるために活用する力などを育て、子供たちが学びの手応えを実感できるような授業づくりを目指していきたいと考えております。今年度は職員同士で授業を参観し合う機会を多くとる予定にしています。授業参観の折りなどに、子供たちが学び合っている姿などをご覧いただけたらと思います。



さらに、下野市で推進している『下野市新聞の日』新聞を楽しむ体験事業も子供たちの学ぶ楽しさや知る喜びにつなげたいと考えています。本事業は活字媒体に慣れ親しむことで読解力を高め、社会情勢にも関心をもつことを目的として、市内の全児童生徒に新聞が無償配布され、年間5回、火曜日を中心に位置付けられている下野市で推進している活動です。配布された新聞は家庭に持ち帰っておりますので、お子さんが新聞を持ち帰った日にご家庭でも話題にさせていただきますと幸いです。

また、今月は南河内図書館2階に下野市教科書センターが設置されています。一般公開は6月13日(金)~28日(土)<月曜休館>です。お時間に都合がございましたらお運びください。

<お礼とお知らせ>

・先日は緑の募金大変お世話になりました。全額公益社団法人とちぎ環境みどり推進機構に納入させていただきます。ご協力ありがとうございました。